

# 平成21年9月期 第2四半期決算短信

平成21年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 村上 浩一

TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第2四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	3,104	—	261	—	115	—	72	—
20年9月期第2四半期	3,566	△22.2	233	20.0	114	29.1	△106	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第2四半期	675.88	674.79
20年9月期第2四半期	△942.34	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
21年9月期第2四半期	6,996	—	3,709	43.7	28,763.06	—	—	
20年9月期	7,196	—	3,858	44.0	29,656.59	—	—	

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 3,059百万円 20年9月期 3,164百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期	1,500.00	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年9月期第1四半期の配当の原資は、資本剰余金であります。詳細は3ページ「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,400	△4.3	750	510.6	550	—	400	—	3,748.72	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名 Advance Create Reinsurance Incorporated) 除外 1社 (社名 株式会社アドバンスライフパートナーズ)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は5ページ【定性的情報】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 有  
(注)詳細は5ページ【定性的情報】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |          |             |          |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 21年9月期第2四半期 | 112,391株 | 20年9月期      | 115,391株 |
| ② 期末自己株式数            | 21年9月期第2四半期 | 6,028株   | 20年9月期      | 8,688株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年9月期第2四半期 | 106,630株 | 20年9月期第2四半期 | 113,343株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

平成21年9月期第1四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする内訳は以下の通りであります。

基準日	第1四半期末
1株当たり配当金	1,500円
配当金総額	160百万円

(注)純資産減少割合 0.047

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱とそれに伴う世界経済の大幅な減退が顕在化し、急激な円高と輸出企業の業績悪化、株価下落など、国内経済は大幅な後退局面に入りました。個人におきましても雇用環境の悪化、先行きの不透明感等により生活防衛意識は拡大、買い控えや節約型志向へと消費者マインドは急速に悪化しております。

このような状況の中、当社グループは「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを目標に掲げ、日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」を中心に、Web検索エンジンや大手ポータルサイトから個人のブログまで、1万を超えるインターネット・サイトと連携することで、より多くのお客様に「生活防衛」としての保険見直しサービスをご提供してまいりました。また、より深く保険の知識を得たい・相談したいとご希望のお客様には当社のリアル店舗である「保険市場」をご案内し、また通信販売をご希望のお客様にはコールセンターを、また簡略化をご希望のお客様にはネット完結型商品をと、ますます多様化するお客様のご要望にお応えできる体制を構築し、お客様本位の取組みをしてまいりました。

なお、店舗につきましては「より便利に、より分りやすく、より快適に」をコンセプトとする店舗形態で3大都市圏を主体に出店を進め、「Web to Real」の機能とサービス向上に取り組んでまいります。

以上の取組みにより、当第2四半期連結会計期間における新規の保険契約件数は64千件、当第2四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても290千件（前年同期末比18.8%増加）となりました。また、それらの保険契約から払い込まれた当第2四半期連結累計期間における収入保険料は10,514百万円（前年同期比9.9%増加）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,104百万円、営業利益は261百万円、経常利益は115百万円、四半期純利益は72百万円となりました。Webサイトにおける効果的なプロモーション活動の確立と更なる試行錯誤、それらを当社の持つ様々な販売チャネルと結びつける「Web to Real」の手法が、景況観の中で「より安く、より良い保障」を求められるお客様のニーズとマッチし、新規契約件数は順調に増加しております。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。保険代理店事業におきましては、上述の展開により当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,957百万円、営業利益は256百万円となりました。

広告代理店事業におきましても、上記「保険市場」で培ったWebマーケティング手法をベースとし、従来からのポスティングを中心とした「紙」の広告提案から、インターネット広告代理店への転換が実を結びつつあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は117百万円、営業利益は18百万円となりました。

損害保険事業におきましては、営業開始初年度にあたり契約獲得がやや低迷しておりましたが、少しスローペースではありますが月を追うごとに獲得件数も増大しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は29百万円、営業損失は0.4百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は199百万円減少し6,996百万円、負債は50百万円減少の3,287百万円、純資産は149百万円減少の3,709百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、売掛金の減少104百万円であります。負債の減少の主な要因は、社債の減少150百万円であります。また純資産の減少の主な要因は配当による資本剰余金の減少160百万円であります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、1,129百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュフローの状況は次の通りであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは531百万円の増加となりました。これは主に、減価償却費131百万円、売上債権の減少119百万円等によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは222百万円の減少となりました。これは主に、保険業法第113条繰延資産の取得による支出272百万円等によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは331百万円の減少となりました。これは主に、社債の償還による支出150百万円、配当金の支払144百万円等によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後におきまして、引き続き厳しい景況感が予想されること及びアドリック損害保険㈱の取扱保険料を保守的に見積もり直した結果、売上高は期初の予想から1,400百万円下回る予定であります。一方、収益構造は上半期に引き続き改善傾向が見込まれますので営業利益、経常利益、当期純利益につきましては期初予定から変更しておりません。これらの理由から、平成21年5月7日付で、通期の業績見通しを売上高6,400百万円と修正しております。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規1社：Advance Create Reinsurance Incorporated

除外1社：株式会社アドバンスライフパートナーズ

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 2. 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ①四半期連結財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ②リース取引に関する会計基準等の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成19年3月30日改正の「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第16号）を早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,180,095	1,382,512
受取手形及び売掛金	1,218,855	1,323,414
繰延税金資産	152,548	109,537
その他	279,195	368,987
貸倒引当金	△2,333	△583
流動資産合計	2,828,361	3,183,869
固定資産		
有形固定資産	164,431	179,726
無形固定資産		
のれん	227,373	234,087
広告実施権等	244,128	262,855
ソフトウェア	423,608	409,646
その他	9,653	2,882
無形固定資産合計	904,764	909,471
投資その他の資産		
投資有価証券	121,888	112,981
保険積立金	1,278,239	1,267,632
差入保証金	418,037	414,516
その他	296,110	270,142
投資その他の資産合計	2,114,276	2,065,273
固定資産合計	3,183,472	3,154,471
繰延資産		
開業費	193,409	203,434
開発費	256,251	349,902
保険業法第113条繰延資産	517,473	285,585
その他	18,026	19,334
繰延資産合計	985,161	858,257
資産合計	6,996,995	7,196,598
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,570	18,632
短期借入金	1,742,400	1,713,400
賞与引当金	120,011	129,486
その他	698,141	660,029
流動負債合計	2,579,124	2,521,549
固定負債		
社債	450,000	600,000
長期借入金	121,200	167,400
退職給付引当金	27,019	21,770
その他	110,447	27,363
固定負債合計	708,666	816,533
負債合計	3,287,791	3,338,082

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	590,824	1,228,400
利益剰余金	△144,711	△544,842
自己株式	△303,359	△432,840
株主資本合計	3,058,067	3,166,033
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,257	△1,585
評価・換算差額等合計	1,257	△1,585
少数株主持分	649,879	694,068
純資産合計	3,709,204	3,858,516
負債純資産合計	6,996,995	7,196,598

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)
売上高	3,104,014
売上原価	906,174
売上総利益	2,197,839
販売費及び一般管理費	1,936,535
営業利益	261,304
営業外収益	
受取利息及び配当金	4,787
その他	36,278
営業外収益合計	41,065
営業外費用	
支払利息	18,850
開発費償却	87,136
保険業法第113条繰延資産償却	48,101
その他	33,102
営業外費用合計	187,191
経常利益	115,177
特別損失	
投資有価証券評価損	19,705
店舗閉鎖損失	29,011
その他	19,670
特別損失合計	68,387
税金等調整前四半期純利益	46,790
法人税、住民税及び事業税	52,065
法人税等調整額	△33,153
法人税等合計	18,911
少数株主損失(△)	△44,189
四半期純利益	72,068



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年10月1日  
 至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	46,790
減価償却費	131,412
のれん償却額	6,713
保険業法第113条繰延資産償却額	48,101
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,750
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,475
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,249
受取利息及び受取配当金	△4,787
支払利息	18,850
繰延資産償却額	104,894
売上債権の増減額 (△は増加)	119,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61
未払金の増減額 (△は減少)	93,672
その他	67,764
小計	630,018
利息及び配当金の受取額	5,182
利息の支払額	△16,808
法人税等の支払額	△59,857
店舗閉鎖による支出	△27,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△170,385
定期預金の払戻による収入	350,079
有形固定資産の取得による支出	△22,796
投資有価証券の取得による支出	△232,537
投資有価証券の売却及び償還による収入	200,652
無形固定資産の取得による支出	△110,185
貸付けによる支出	△200,000
貸付金の回収による収入	313,086
保険積立金の積立による支出	△10,291
差入保証金の差入による支出	△40,316
差入保証金の回収による収入	29,025
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	△272,636
繰延資産の取得による支出	△6,701
その他	△49,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,452

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成20年10月1日  
至 平成21年3月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	750,000
短期借入金の返済による支出	△721,000
長期借入金の返済による支出	△46,200
社債の償還による支出	△150,000
自己株式の取得による支出	△19,979
配当金の支払額	△144,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331,739
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,722
現金及び現金同等物の期首残高	1,152,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,129,775

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年10月1日 至平成21年3月31日）

	保険代理店事業 業 (千円)	広告代理店事業 業 (千円)	損害保険事業 (千円)	再保険事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上 高	2,957,122	117,382	29,509	—	3,104,014	—	3,104,014
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	28,692	55,429	—	—	84,121	(△84,121)	—
計	2,985,814	172,811	29,509	—	3,188,136	(△84,121)	3,104,014
営業利益又は営 業損失(△)	256,663	18,320	△453	△1,593	272,938	△11,634	261,304

(注) 1. 事業区分の方法

経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の内容

保険代理店事業 生命保険および損害保険の代理店業。

広告代理店事業 ポスティング、新聞、セールスプロモーションその他広告業務取扱いおよび企画、制作ならびにマーケティング等サービス活動

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

3. 当第2四半期連結会計期間より、Advance Create Reinsurance Incorporated の業務開始に伴い「再保険事業」を追加しております。

[所在地別セグメント情報]

該当事項はありません。

[海外売上高]

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前連結会計年度末に比して、以下の通り株主資本の金額が変動しております。

(千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	2,915,314	1,228,400	△544,842	△432,840	3,166,033
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
その他資本剰余金からその他利益剰余金への振替	—	△328,062	328,062	—	—
四半期純利益	—	—	72,068	—	72,068
自己株式の消却	—	△149,460	—	149,460	—
自己株式の取得	—	—	—	△19,979	△19,979
剰余金の配当	—	△160,054	—	—	△160,054
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	△637,576	400,131	129,480	△107,965
当第2四半期連結会計期間末残高	2,915,314	590,824	△144,711	△303,359	3,058,067

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		3,566,317	100.0
II 売上原価		1,036,000	29.0
売上総利益		2,530,316	71.0
III 販売費及び一般管理費		2,296,369	64.4
営業利益		233,947	6.6
IV 営業外収益			
1. 受取利息	1,865		
2. 受取配当金	5,843		
3. 投資有価証券売却益	5,932		
4. 持分法による投資利益	1,521		
5. その他	15,210	30,372	0.8
V 営業外費用			
1. 支払利息	12,971		
2. 株式交付費償却	2,544		
3. 開発費償却	90,394		
4. 開業費償却	24,248		
5. その他	20,107	150,265	4.2
経常利益		114,054	3.2
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	60,000		
2. その他	3,382	63,382	1.8
VII 特別損失			
1. 投資有価証券評価損	199,090		
2. 役員退職慰労金	63,690		
3. 固定資産除却損	26,197		
4. 退店損失	143,227		
5. その他	387	432,592	12.1
税金等調整前中間純利益		△255,155	△7.1

	前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)		
区分	金額 (千円)		百分比 (%)
法人税、住民税及び事業 税	35,355		
法人税等調整額	△158,354	△122,998	△3.4
少数株主利益		25,349	0.7
中間純利益		△106,807	△3.0







